

盛岡ひがし支援学校

研究テーマ

「日常の授業づくり」及び「日常の事例の検討」による学校教育目標を見据えた学部目標の追求 (R3～R5)

～「授業ライブラリー」の作成と活用を通して～

1 校内研究

(1) 研究の目的

「日常の授業づくり」及び「日常の事例の検討」により、学校教育目標「児童生徒一人一人の可能性を伸ばし、心豊かで主体的に生きる人を育成する」を見据えた学部目標を児童生徒一人一人の中に追求する。

(2) 研究の内容

各担当、学級、学年、グループ、学部において、「日常の授業づくり」及び「日常の事例の検討」を必要に応じて関わる教職員で行う。

(3) 研究の方法

ア 会議等のもちかたについて

会議等は、既存の職員会議、学部会、学年会等を活用することを基本とする。

イ 「日常の授業づくり」及び「日常の事例の検討」に以下の6資料を活用する。

- ・「学習指導要領」、特に解説各教科等編の各教科の「目標・内容の一覧」
- ・「学校教育指導指針(特別支援学校)」、特に「Ⅶ特別支援学校教育の指導の要点」
- ・「解説各教科等編」の「知的障がいのある児童生徒への教育的な対応」
- ・解説各教科等編の「3 指導の形態について(3) 各教科等を合わせて指導を行う場合」
- ・「障害のある子供の教育支援の手引き」(必要に応じて)
- ・「特別支援学級経営の手引」(必要に応じて)

ウ 「授業ライブラリー」について

学校フォルダ内に、校内研究の取り組みの成果である「日常の授業」の映像データ可能な場合、指導略案を添える)を提供し合い作成し、必要に応じて活用する。

エ 周知・報告は、「岩手県高等学校教育研究会特別支援教育部会 研究集録」による。

(4) 今年度の実践

個別の指導計画を作成するための資料に各教科の「目標・内容の一覧」を位置付けた。

これをベースに、各担当者が各学級、学年、グループ等の「日常の授業づくり」に取り組み、必要に応じて「日常の事例の検討」を既存の会議等を活用しながら取り組んだ。

これらの研究成果について、授業の動画データを募り、共有画像フォルダ内に以下の分類による31本の授業の動画データを収めた「令和4年度授業ライブラリー」を作成し、必要に応じて活用することができた。

ア 教科による指導	01 国語
	02 算数・数学
	03 音楽
	04 図画工作・美術
	05 体育・保健体育
イ 教科以外の指導	06 自立活動
	07 その他
ウ 各教科等を合わせた指導	08 日常生活の指導
	09 遊びの指導
	10 生活単元学習
	11 作業学習

2 講演会

演題：少年犯罪の現状と法教育

～特別支援学校に求めたいこと～

講師：仙台少年鑑別所 盛岡少年鑑別支所
支所長 齋藤 敏浩 氏

期日：令和4年8月1日(月)

3 研修会

・タブレット研修会(7/26)

・県立学校児童生徒重大事案の再発防止に係る研修会(7/27)

・校内研修会(7/29)

岩手大学教育学部 准教授 鈴木恵太 氏

・上期コンプライアンス研修会(8/1)

盛岡地方法務局 人権擁護係長 唐牛一考 氏

・いじめ防止に関する職員研修会(9/21)

・下期コンプライアンス研修会(12/23)

総合教育センター 教育支援相談担当

研修指導主事 阿部真弓 氏

4 刊行物

研究集録は刊行しておりません。